

この度は、地域の小中学生向けプログラミングワークショップの活動が評価され、優秀学生表彰をいただき、ありがとうございました。

私が取り組んだ卒業研究は「既存とは異なる使用体感を備える SNS の制作」というテーマで、既存の SNS の問題点の調査および分析、新たな SNS の仕組みを制作しました。SNS が広く普及するにつれ、様々な無視できない問題が発生しており、それらに SNS のシステムや設計の面から対処することは可能か、という疑問が研究のきっかけになりました。私の所属学科は、社会学や心理学も学べる学科であったため、そこで学んだ知識や視点を活かしたり、現在 SNS 利用に際し発生する問題に焦点を当てたりすることができます。そこで、情報技術のみならず、それらを基礎に既存と異なる SNS のモデルコンセプトを考案しました。さらに、考案したコンセプトの SNS について、必要最低限の機能を有した SNS を実際に制作し、様々な視点からシステムとコミュニティの関連性の検討、考察を行いました。

その研究成果を、令和 2 年東北地区手研究者発表会で「共感を主眼とする SNS コミュニティデザインの検討」という題目で発表予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。類似研究を行う方との意見交換やその他様々な研究に触れる機会になると楽しみにしていたため、中止はとても残念でした。私は、令和 2 年 4 月に ICT 関連企業に就職します。地域に根差した企業である強みや、普及活動に携わった経験を活かし、より多くの人々が ICT 技術の恩恵を受け、より良い社会活動を送る一助となれるように努力を続けていきたいです。